

「本学に献体された方のご遺族並びにくすのき会会員の皆様へのお知らせ」

医学教育ならびに教員・医師の教育と医学研究の発展のために献体された方のご遺体を解剖しております。研究課題は以下の通りです。

研究課題名 応用人体解剖学実習：比較解剖学的観点から見た正常構造と破格研究の概要

本学では、第2学年の学生で医学研究を行う実習を行っております。

第2学年教育の中で、平成27年度より「医学研究への扉」の実習を新設し、応用人体解剖学実習を実施しております。人体解剖実習は第1学年で実施されますが、知識と経験を積んだ後に、医学研究という視点から解剖実習を行い、日々進歩している医学に対して研究マインドを培うために、第2学年で研究目的の解剖実習が実施されております。応用人体解剖学実習では、第1学年時の人体解剖実習の内容を復習すると同時に、計測、描画、撮影（レントゲン撮影を含む）などの解剖所見から個別の課題を見つけ、人体構造の詳細を探求します。また、必要に応じて組織標本作製し、各種顕微鏡ならびに電子顕微鏡などを用いた組織の微細構造の観察も行います。

解剖学教室では、本学第2学年、医学研究への扉において行われた応用人体解剖学実習の概要・有効性と課題について検討し、今後のより良い応用解剖実習への礎とし、その成果については、本学解剖委員会並びに倫理委員会の審査を受け、学長の承認により、日本解剖学会において発表したいと希望しております。また、研究結果は平成31年度以降の実習で得られた所見との比較で二次利用させていただく可能性があります。その場合は、新たに研究計画を立て、倫理委員会の承認を得て実施します。研究に使用した情報等は発表から5年後に廃棄いたします。研究期間は倫理委員会承認日から平成31年3月31日までです。

本研究は医大実習関連経費及び研究責任者の教員研究費で行う研究であり、利益相反の状態にはなりません。

本研究における解剖は、献体者のご意思を尊重するため、川崎医科大学くすのき会入会申込書に記載してある解剖に関する同意項目全てに同意をいただいたご献体により行われます。個人が特定できるような個人情報に関わるデータは匿名化を行った後に解析いたします。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申し出ください。

本研究に関して何かご不明の点、ご質問がございましたら下記研究責任者ま

でご連絡ください。

研究組織：川崎医科大学解剖学教室
研究責任者：解剖学 教授 樋田一徳

連絡先：701-0192 岡山県倉敷市松島 577
川崎医科大学 解剖学 樋田一徳
TEL：086-462-1111（内線 27520） FAX：086-462-1199
E-mail：toida@med.kawasaki-m.ac.jp